

## 行政問題

### 会計処理を複式にしては

#### 一部複式簿記にしている



議員 照男 てるお  
明神 みょうじん

識や資産管理についても最近の新社設立等で職員にも企業会計意識が浸透しているのではないかと思う。

## 漁業対策

### 資源の確保に力を

### 国等へ提言するよう動く

**問** 黒潮町を黒潮町株式会社と思っているが、一般会計も複式簿記にしてはどうか。金が生き銭か、死に銭かどちらでも良かった時代は終わった。市では複式簿記で職員の財務意識改革に取り組んでいるところもあるようだが、町長は取り入れる考えはあるか。

**答** 松田 副町長

町も金子監査委員の協力により平成20年決算に基づく普通会計財務4表を総務省モデルで作成しており、コスト意

**問** 10年も前からカツオに代わる漁をとってきただが、今の時が来た。漁業には活餌対策はあるが、曳き縄の人にイワシは関係なく、来年も曳き縄が駄目だと思いが町の対策を聞こう。

**答** 浜田 海洋森林課長

議員はカツオは終わりと云うが、佐賀には大型漁船と19トンの漁船で20隻あり、各地で水揚げを行っている。さが

道の駅や一番館でも頑張っている。今後カツオを国民的な魚として支援していく。

今年5月の佐賀のカツオ水揚げは約1トンで昨年の半分。原因は巻網の乱獲があり、資源管理団体に加盟している国に、巻き網の漁獲量削減について実行ある管理措置が構築されるよう要望していく。

**問** 土佐湾は魚が棲める海でなくなった。その上、獲った者勝ちの乱獲に、燃料の高騰がある。国と漁協はオリンピック制が良いと言っているが、無駄な燃費を使わない個別割当制度に替える事を国に言って貰いたい。

**答** 大西 町長

結論は保護管理でその手法が個別割当かどうか。全国市町村水産振興対策会議で常任理事を務めたが、ここでカツオの資源保護をしつかりやって頂くよう、政府に提言したいと言いつけてきた。今後も使命を果たしていきたい。

## 伊方原発

### 再稼働

### どう考える

### 防災計画を見直す

**問** 原発は最大の環境破壊。大飯原発の福井判決でも環境破壊の文言があった。再稼働問題は反対も賛成もあるが、ビキニの雨に塗れた私達や、ガンで亡くなった人達はそれでは済まない。原発再稼働に

ついてどう考えるか。

**答** 大西 町長

原発再稼働の前提となる新規基準への適合審査の会があり、伊方原発3号基の再評価を求められたと聞く。災害対策としては、伊方原発の安全対策や災害時の協議があり、防災計画に原発の事故が想定した原子力事故対策が新設され、町も地域防災計画を見直す予定になった。



資源にやさしい カツオ一本釣り